悪女の国のチンポ奴隷
悪女には勝てなかったよ…
“悪女の国”に捕らえられた少年が
ド変態痴女に犯され
搾り尽くされる!!
本編71P

突撃ぃ
いいっ！
うわぁあっ!!
悪女の国に
捕まった者は
奴隷にされ、
一生そこで
過ごすことになる
不可解なのは
彼らが
自らの意思で
帰らないと
言っていることだ
どうやら
逆らえなく
なるほど
おぞましい拷問を
受けているらしい
逃がすなっ!!
けっして
捕まっては
ならない
一人残らず
捕らえろっ!!
悪女の国
第7部隊隊長
ジーナ

タッタッ
タッタッ
ハッ
ハッ
ハッ
ビル
よくやった
だがまだ
ガキが
何人(なんにん)かいたな
!!
カッ
さっ
ビビビ

また
つかまった!!
大人は
みんな!?
もう
ダメだ!
逃げ
なきゃ!
でも
どこに!?
谷だ!
谷の
向こう
まで…!
見えた!
急げ!
待て!
もう
来た!!
速い…!!
どうし
よう!?
このまま
じゃ…!!
おいっ!?
みんなは
逃げて!
橋を落として
逃げるんだ!!
ガゴッ!!

急げ！
隊長!!
来るなっ！
ドドド

悪女の国
ジーナ中尉
今回もよくやってくれた
おかげでまた新たな奴隷どもがたくさん獲れた……
良い…じつに良い…
さわっ

カチャ
豊作だ…♥
ぬるぉ…
ぷっ
!!
ぬぷっ…
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥

前立腺二点責め
肛門・尿道の
両側から同時に
前立腺を刺激する
ことで
絶頂へと導く
意思での抵抗は
不可能であり
被術者はただ
極上の快楽に
身を震わせる
しかない
そして
通常の射精とは
異なるこの快楽が
ひとたび脳に
刻まれたが最後——
あ〜〜
あ〜〜
あ〜〜
この刺激のために
どんな命令も
拒まない従順な
奴隷が完成する——
だが、尿道を
傷つけぬよう
刺激するだけでも
熟達したスキルが
必要な前立腺責め
これを片手で行い
さらに肛門側からの
責めまで
一人でこなすのは
まさに神技——!!
あっ…♡
ビクッ
ビクッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ガラ
ガラ
けっして
誰しもに
なしえる
芸当ではなかった

次
ぐろっ♥
はっ!!
うむ…
では
中尉
褒賞を
取らせよう
望むものを
言うがよい
ゴゴゴゴ…
悪女の国女王
イザベラ

して……
なにを望む？
ヴヴヴヴヴヴ
あっ♥
あっ♥
ハァ
ハァ
ハァ
ギン
ギリ
ギリ
ッ…
ッ
あ゛あ゛あ゛あ゛
あ゛
では――
新顔の
〝幼奴〟を
一頭
賜りたく
存じます
ふん
その傷を
つけた
幼奴か…
いいだろう
たっぷり
かわいがって
やれ
ありがとう
ございます
あっ♥
あっ♥
あっ♥
メヤッ

3日後
ジーナ邸
カッ
カッ
カッ
カッ
ナアアア
地下室
カッ
カッ
カッ
サイイイ
ゴゴゴ

ガチャ…
ガチャガチャッ
ギィ
ようやく届いたか…
待ちわびたぞ
カッ
カッ
カッ
カッ
カチャ
カチャ
お前…!!

ボン!!
ふふ…
この前は世話になったな
どうした？驚いてるのか？

カァァッ
っ……!!
な…
なんだ
その格好…!
拷問官
としての
正装だ
気に
いったか?
むちっ♥
寄るな!
汚らわしい
悪女め!
ぼくは
聖女様の
従者に
なるんだ!
お前たちの
奴隷に
ならない!!
ふふ…
つれないな
そう言わずに
仲良くしよう
じゃないか
カッ
カッ
カッ
わたしたちは
お前たちと
仲良く
なりたいんだ
ふざけるなっ!
お前たちと
なんか
仲良くできる
わけない!
ぴしっ♥
さわっ
そうか?
ほかの
やつらは
帰りたくないと
言っているぞ
嘘だ!!

嘘じゃない
すー
っ…！
おまえらの悦びはなんだと思う？
遺伝子にきざまれた本能的な願望…
むぎゅ♡
わたしたちの気持ちが伝わったんだ
コスッ
コスッ
むくむくっ
あっ！
それは聖女に仕え奉仕することではない
や…
やめろぉ…
くたくた♡
わたしたちにかしずき蹂躙されることだ
1ヶ月——
1ヶ月でその本能を思いださせてやる
1月後まだ嫌だというなら解放してやろう
わるくない条件だろう？
こすこす♡
こすこす♡
ビクンッ
ニィ
んん？

そら
まずは乳首から拷問してやろう♥
ハァ
感度は良好だな
たまらん顔をする
ぐぐっ
ろぉっ
いますぐめちゃくちゃにしてやりたいくらいだ

ぎゅっ
帰る…!!
1ヶ月…
ぜったいに耐えきって帰るんだ…!
れろぉ♥
あっ♥
あっ♥
そして聖女様に…!
もういちど聖女様に会って——
ユラ…
聖女様の騎士にしてもらうんだ…!!

聖女の国と悪女の国――

その両国に挟まれる形でオチンポ族の集落が点在していた。

オチンポ族には聖女国の教えが浸透しており族民たちはみな一様に聖女たちを崇拝している

中には聖女たちに選ばれ〝御子〟として国に迎えられる者もいる

彼らは聖女に仕える従順な僕となってときに騎士として聖女を護り

ときに給仕として身の回りの世話をする

聖女のために働くという、栄誉に浴することが――許されるのだ

〝御子〟は族民すべての憧れであり最高の誉れである。

族民はいつか聖女が自分を迎えに来てくれる日を夢見て

聖女国の教えを守り祈りを捧げながら清貧な生活を送っている

聖女国初代女王マリアンヌ像

悪女の国は
そんな
オチンポ族たちを
狩る軍事国家である

悪女たちは
集落を襲い
強制的に
連れ去っては
"奴隷"として
労働力や
性的玩具にし
弄んでいた

高度に発達した
悪女国の文明は
オチンポ族にとって
未知のもので
溢れており

それらの
技術と知識に
よる快楽責め——

そして
悪女たちの
卑猥な肉体は
あまりにも
刺激的で——

聖女たちの
教えにより
自慰行為すら
禁じられている
オチンポ族が
彼女らの拷問に
耐えられるはずが
ないのだった

れろぉ♡
れろぉ♡
れろぉ♡
れろぉ…
れろぉ…
ビクッ♡
ビクッ♡
カリッ♡
カリッ♡
カリッ♡

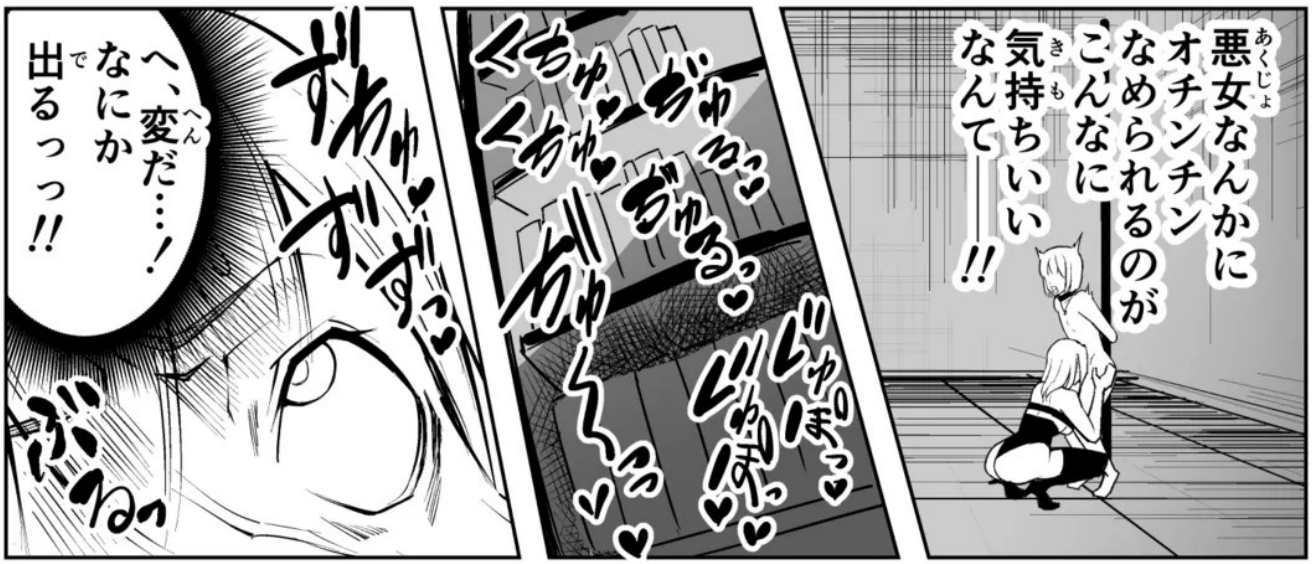
おっと…
もう半日
経って
しまったか
楽しい
時間は
早いな
!?
まだ
終わりじゃ
ないの…!?
こいつ…
変態だ…!
ずっと
飽きずに
おっぱいだけ
舐め続けて…!
ではそろそろメインディッシュといこうか
くく…
我慢汁で
べとべと
じゃないか
待たせて
悪かったな

あっ！
外に出してやろう♥
んちゅ♥
ビクン♥
ぐっ
ぐぐ…
ぐぐぐ…
ビクビクッ
ズルッ
くくっ
いい元気だ♥
だがまだもう一枚あるな

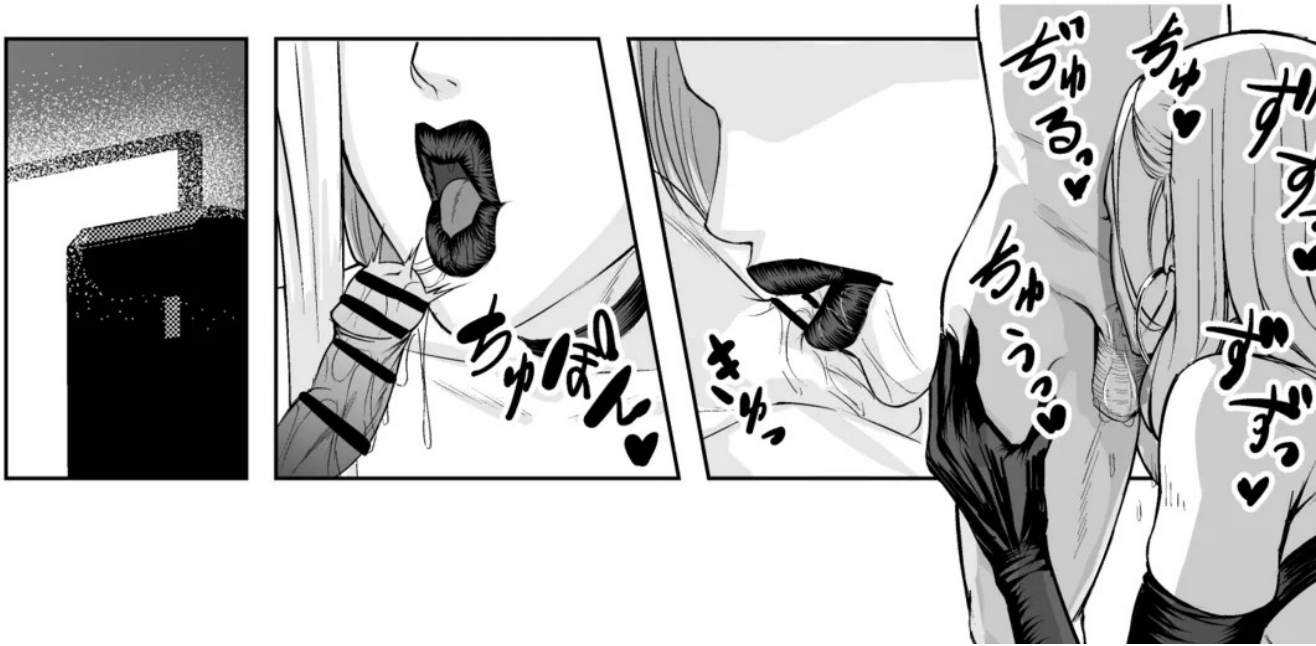
皮剥き手術をしなくては♥
!?
あ…
ああ…!
ドキドキ
皮剥き手術!?
なにする気なんだ…!?
ぼくのおちんちんのなかに舌が侵入ってくる…!!
そんなとこまで舐めるなんて…!!
あぁ…!!
おちんちん…!!
おちんちんが…!!

敏感すぎて空気に触れてるだけでスースーする…!!
いまこんなの舐められたら…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
むわぁっ
よしよし
これでおもいきり舐れる♥
ま待って!!
まだ――
光栄に思え
めっ
くっ♥
キュッ
もぐもぐ

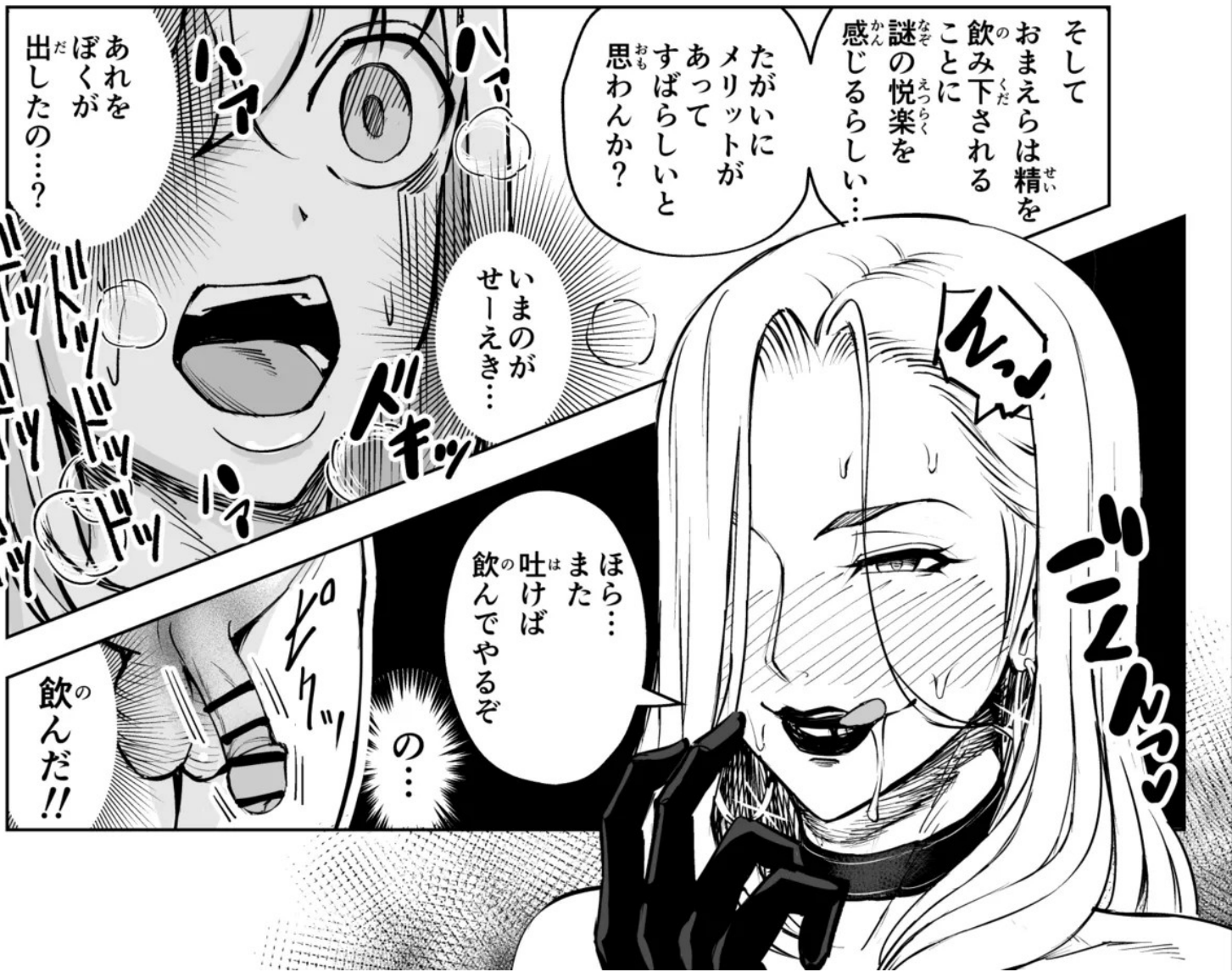
ぬちゃあ
ぁあああっ!!
なにこれ…?
なんなんだこれっ!?
ぬろぶ
気持ちいいいいいいっ!!
あったかい舌がねっとり絡みついてくるっ!!
おちんちんきもちいいぃいいっ!!
くちゅ
くちゅ
あっ
もぐもぐ
あっ
気持ちよすぎて頭しびれるぅううッ!!
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅるっ
じゅるっ
皮剥きされた生のおちんちん敏感すぎるぅぅううっ!!
ずちゃ
ずちゃ
あっ
悪女に…
ぬぽっ
ぬぽっ
あっ

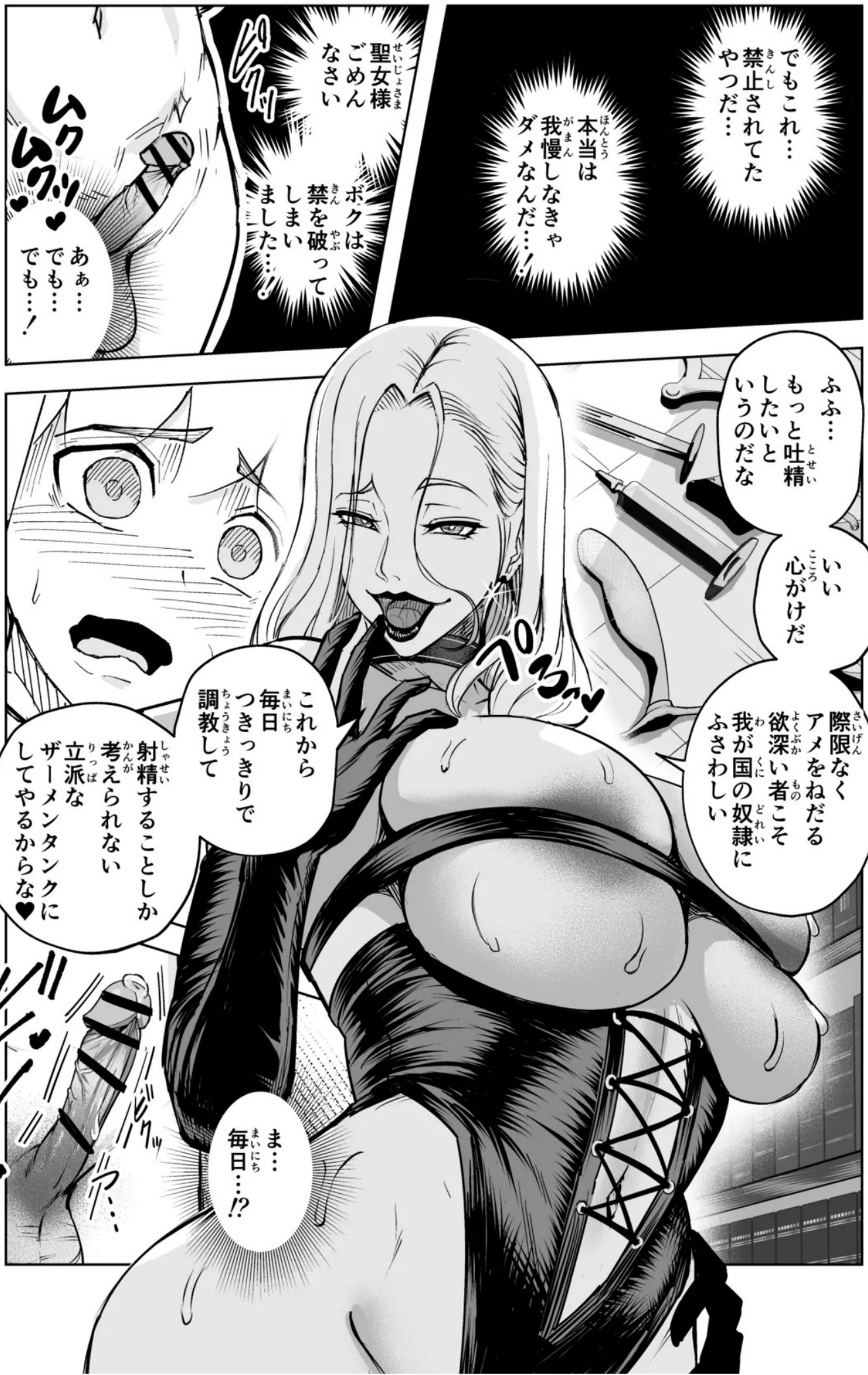

悪女なんかにオチンチンなめられるのがこんなに気持ちいいなんて――!!
じゅぽっ♥
じゅぽっ♥
ぢゅるっ♥
ぢゅるっ♥
ぢゅくっ♥
ぢゅくっ♥
ずぢゅっ♥
ずずっ♥
へ、変だ…!
なにか出るっっ!!

な――
なにか出てるっ!!


ちゅぽんっ♥
きゅっ
ちゅ♥
ぢゅるっ♥
ちゅうっ♥
ずずっ♥
ずずっ♥

ふふ…
ほうら…採取できた♥
これがおまえの子種だ
どうだ？はじめて精を吐いた感覚は？
私たちはこれが好物でな…
おまえらを飼う理由の大半はこれだ


そしておまえらは精を飲み下されることに謎の悦楽を感じるらしい…
たがいにメリットがあってすばらしいと思わんか？
いまのがせーえき…
ほら…また吐けば飲んでやるぞ
の…
飲んだ!!
あれをぼくが出したの…？


でもこれ…
禁止されてた
やつだ…
本当は
我慢しなきゃ
ダメなんだ…!
聖女様
ごめん
なさい
ボクは
禁を破って
しまい
ました…!
ビクッ
ムクッ
ムクッ♥
あぁ…
でも…
でも…!
ふふ…
もっと吐精
したいと
いうのだな
いい
心がけだ
際限なく
アメをねだる
欲深い者こそ
我が国の奴隷に
ふさわしい
ペろっ♥
これから
毎日
つきっきりで
調教して
射精することしか
考えられない
立派な
ザーメンタンクに
してやるからな♥
ビクッ
ま…
毎日…!?

2日目
オチンポ族が
活動時間の
ほとんどを割いて
狩り、
育て、
採取し、
調理して
行う食事——
そうして
ようやく得られる
栄養素を
悪女の国では
いとも簡単に
摂取できた
十分すぎる
ほどの栄養
さらに
技術の粋を
駆使して作られた
最高級精力剤が
惜しみなく
与えられる
これで
日に何度でも
射精できる
そして——
まずは
吐精の快楽を
徹底的に
刻みこんで
やろう
カチャ
どんどん
子種を
作りつづけろ
くる
それが
お前たちの
役目と
なるのだ
ぶすっ

鍼
この鍼による快感は
自覚できないほど
わずかである
だが絶えず神経に
与えつづけられる
刺激は
時が経つほど
増していく
さらに——
しなやかな鍼の
鍼柄は
絶妙な錘と
なっており
わずかな振動でも
振り子のように
長時間
揺れつづける
ほら♥
動くと
揺れるぞ♥
それがさらなる
呼び水となり
快感と揺れの反復は
激しさを増しながら
繰り返されやがて——
しかし
揺れが止まる
ことはなく
鍼は
無間の快感を
与えつづける
ビィィィン♥
ビィィィン♥
ふふ…
達した♥
自律式ザーメン
スプリンクラー
完成だ！
明日までに
どのていどの
水溜りが
できるか
楽しみだな♥
ハハッ

6日目
今日からは前立腺をかわいがってやろう♥
オチンポ族にしかない器官…
餓鬼より卑しいお前らが快楽を貪るための卑猥な器官だ
ケツと尿道両面から楽しめてお得だぞ
じかに触れるわけではないが刺激に貪婪な前立腺には——
触手ブジー
尿道から前立腺を刺激するための道具。
柔らかく、尿道を傷つけることがない。
魔力により蠕動する。
くいっ
くにっ
にゅるっ♥
——!!

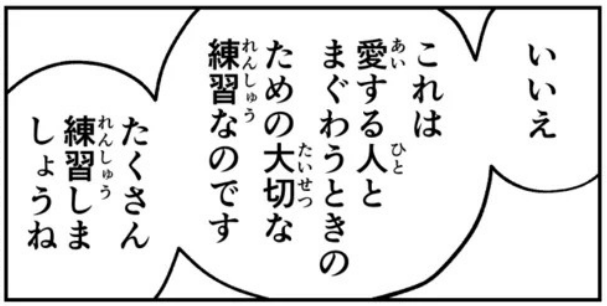
よしよし♥
後ろも愛でてやろうな♥
キュン
ずぶっ♥
おっ!!
くくっ♥
くくっ♥
くく…
清貧を謳っておきながらこんな器官を持ってるなんてどういうつもりだ?
奴隷になるために生まれたとしか思えない生き物じゃないか
あっ♥
ぁっ♥
ぁっ♥
ぁ

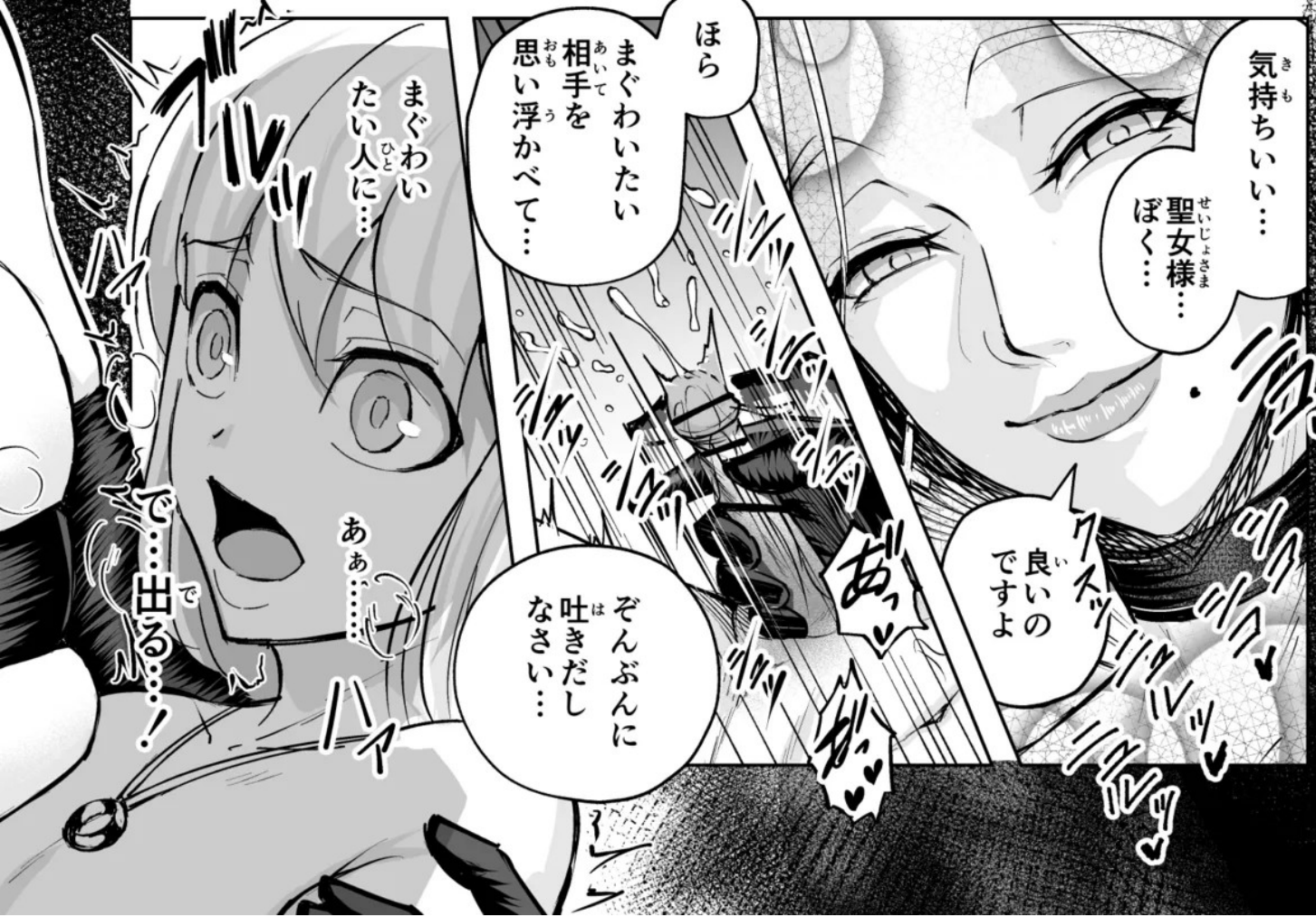
…きて
起きなさい
ピッ
ガチ×
大丈夫ですか？
ばっ
カッ
せっ聖女様っ!?どうしてここに…！
とてもつらそうだわ
こちらにいらっしゃい
いま癒してあげましょう
シャル…
さあ陰茎をお出しなさい♥
!?
ストン

あなたのためよ
好きなのでしょう？
せ…聖女様!?
その格好は…？

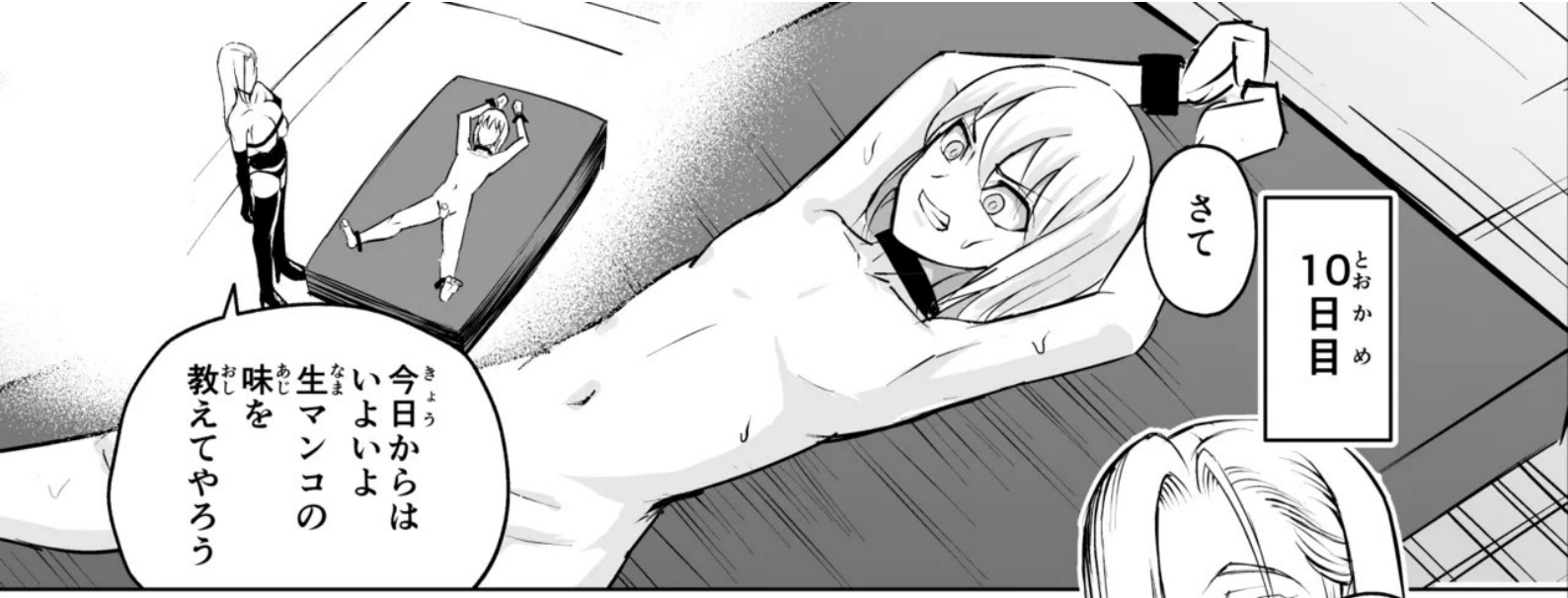
ああ…
聖女様がぼくのおちんちんを…
レロレロ
にゅる
にゅる

聖女様
これっていけないことなんだよね？

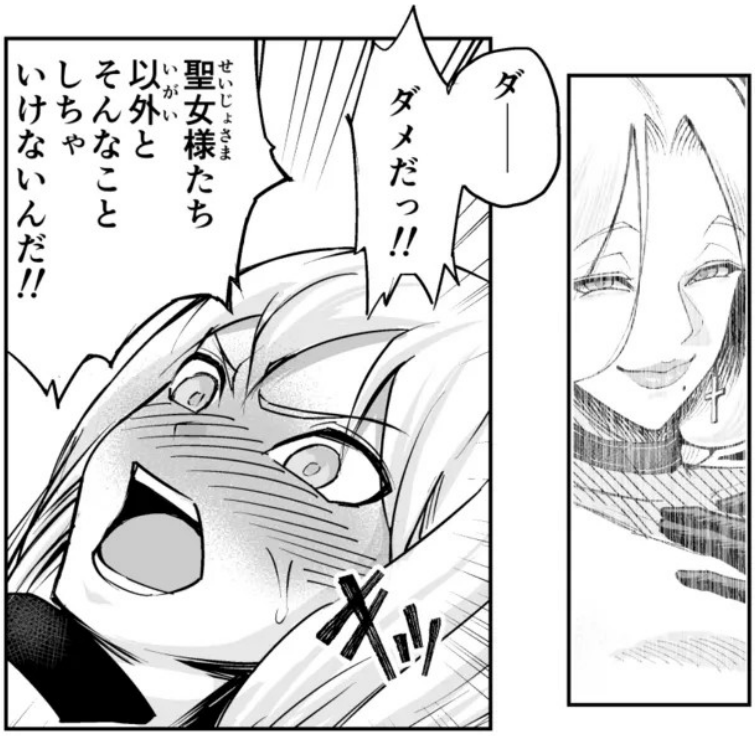

いいえ
これは愛する人とまぐわうときのための大切な練習なのです
たくさん練習しましょうね


気持ちいい…聖女様…ぼく…
クスッ
良いのですよ
ぞんぶんに吐きだしなさい…
ほら
まぐわいたい相手を思い浮かべて…
まぐわいたい人に…
あぁ……
で…出る…！

!?
ぴちゃ
れろっ
たらっ
ぎゅっ♥
そうか…
ハァ
ハァ
わたしとまぐわいたいのだな？
聖女(せいじょ)よりもわたしと…
ドクン♥
がばっ
ハッ
あ…
夢(ゆめ)…？
どろっ


10日目
さて
今日からは
いよいよ
生マンコの
味を
教えてやろう

うれしい
だろう？
な…
生マンコ…!?
コイツとボクが
〝まぐわう〟って
こと……？

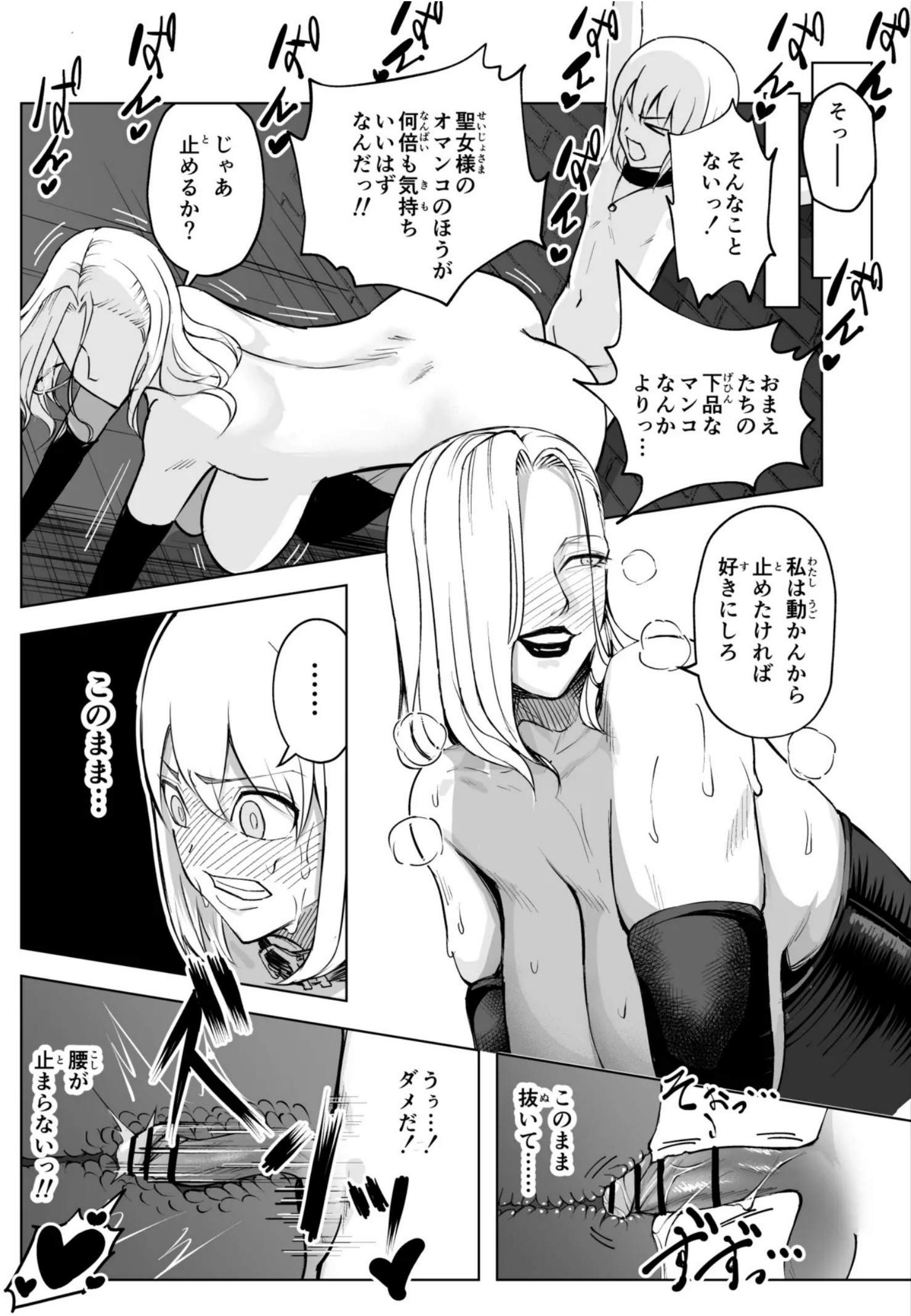

ダ――
ダメだっ!!
聖女様たち
以外と
そんなこと
しちゃ
いけないんだ!!

ふふ…
そんなに
はげしく
勃起させながら
言うセリフか？
ビキッ
ビキ
うぅっ…

それに…
ここに
チンポを
入れると
最高に
気持ち
いいんだぞ？
くぱぁ♥
とろっ♥
本当は
聖女ではなく
いますぐ私に
犯されたい
んだろう？

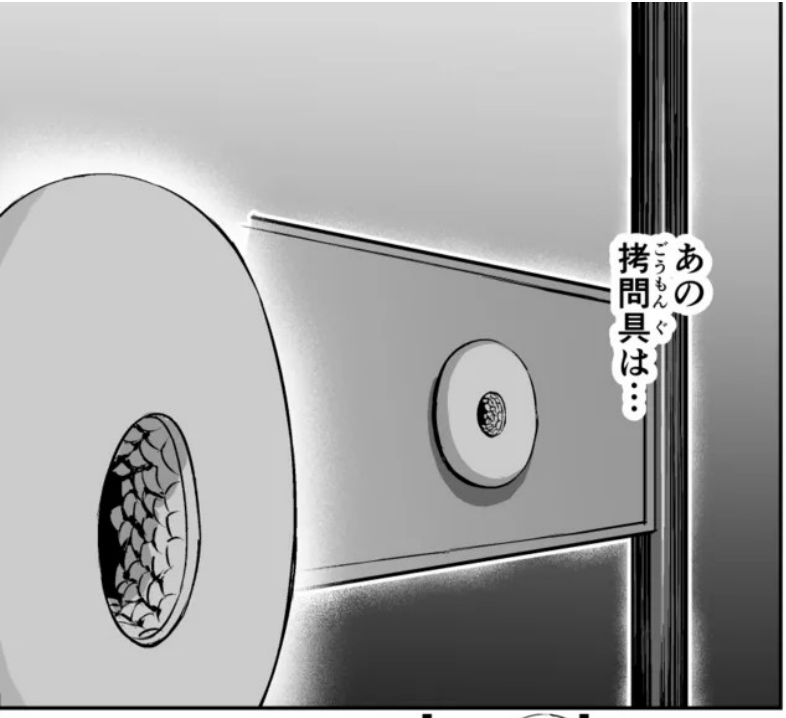
そ…
そんな
こと…
ズキッ
ゴッ…
自分たちの
身体は
聖女様たちの
もの――
いままで
何匹もの
オチンポ族が
そう言ってきた
だが――
ずぶ
!!
うっ…!
どうだ?
私たちの
マンコは
みながみな
超一級品の
名器だぞ♥
ずぶぶっ♥
無数の襞が
亀頭に絡みつき
ざらざらとした
刺激で
擦りあげる…
ぬりゅ♥
ぬりゅ♥
こうしてすこし
動くだけでも
たまらん
気持ちよさで
ゾクゾクする
だろう?

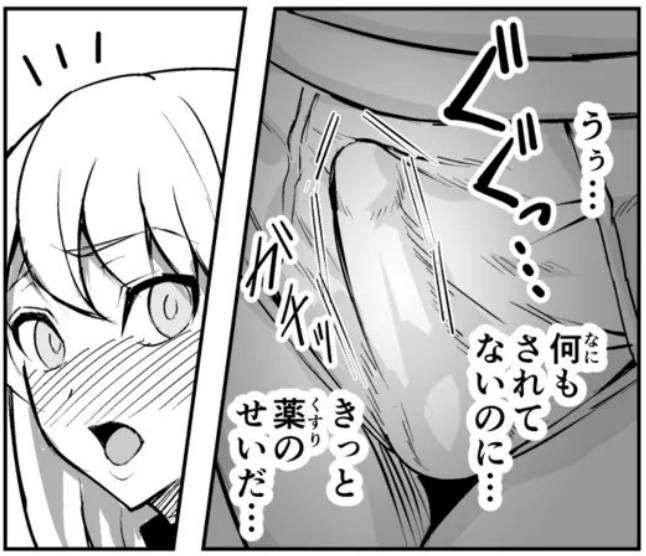
これが…
オマンコ…
悪女(あくじょ)の
オマンコ…！
ズッ
ズッ
ズッ


そっ――
そんなことないっ！
おまえたちの下品なマンコなんかよりっ…
聖女様のオマンコのほうが何倍も気持ちいいはずなんだっ!!
じゃあ止めるか？
私は動かんから止めたければ好きにしろ
このまま抜いて……
そなっ
ずずっ
うぅ…！ダメだ！
腰が止まらないっ!!
……
このまま…
ぱん♥
ぱん♥
ぱん♥
ぱん♥
ぱん♥
ぱん♥

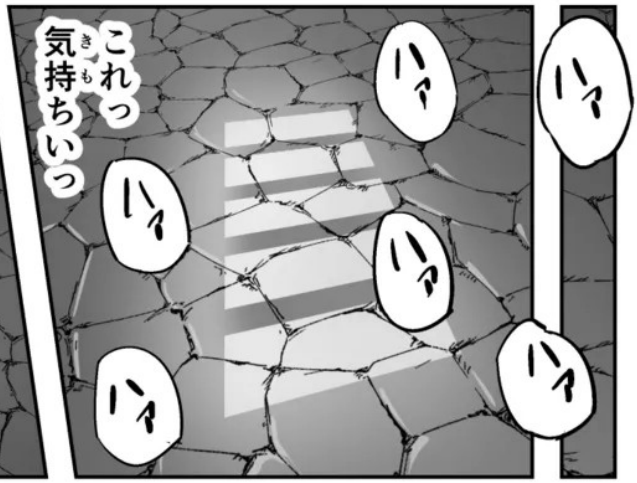
悪女のマンコ気持ちよすぎる！
グチュ♥
グチュ♥
グチュ♥
オマンコ気持ちいい…!!
ふはは！諦めろ!!
おまえ達オチンポ族はマンコの快楽に逆らえないよう遺伝子レベルで設計されている！
何もされてないのにっ…!
動くの止められない!!
でりゅうううん
なんで!?
あっ
パン
パン
パン
女に飼われるのはおまえらの運命なのだ!!
そういう生き物なんだよ！
そんなハズないっ！
悪女マンコなんかに負けるはずないっ!!
逆らえないっ!!
もっともっとこうしてたいっ！
うぅっ…！くやしいっ!!
ハァ
ハァ
ハァ
でもマンコきもちいいっ！
パン!!
ダメだ…！止めなきゃ…！
止めなきゃ…！
むにゅ
ビュビュッ♥

鎖…
ハッ
う、、
繋がれてない…？
ペた
ペた
部屋からは出られない…
はっ
カッ
カッ
カッ
カッ…
カッ
カッ…
……
遠くなった
ドキ
ハァ
カッ
カッ…
ドキ
ビッ


あの拷問具は…


うぅ…
ぐぐっ…
何もされてないのに…
ガチッ
きっと薬のせいだ…
！！！

ダメなのに…！
パンッ♥
パンッ♥
無理やりされてるわけじゃないのに我慢できない…！
あっ♥
あっ♥


これっ気持ちいっ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

聖女様に忠誠を誓ってるのに…！
ガタ
アイツに射精させられてからおかしくなっちゃった…！
あっ♥
あっ♥
あっ♥
教えをまもるのがこんなに辛いなんて…！
ガタ

アイツが悪いんだ…！
あんなに下品な肉体してるから…！
マンコ締めつけてくるから…！
ムチィッ♥

っ……！
ぶるっ!!

!!
ビュルル

20日目
この薬で大量の精を製造・保存できるようになる
ハァ
ハァ
ハァ
そのぶん吐精の欲求もすさまじいことになるがな
乳首の開発も進んできたなじき乳首だけでイけるようになるぞ？
ウィイ
ウィイイイン
ケツにはエネマグラ定期的に潤滑油が補給されるから安心しろ
チンポは飽きがこないよう多様な刺激を用意してある楽しみだろう？

だが
いかな快楽を
与えられようと
けっして
達することは
ない!!
そういう術をかけた
ドカ
バリ
私の
許可なく
射精した
罰だ
教典
どおりの
禁欲生活が
できて満足
だろう?
あ…あ…
イかせて…
イかせて…
服従を
誓うなら
イかせて
やる
どう
する?
ふーっ
ふーっ
ふぐうううっ
……!
ハッハッハ!
そうだ!
すばらしいぞ!!
仮にも
私の奴隷に
なろうと
いうのだ
そのくらいの
気骨が
なくては
じゃあ
また
明日だな
狂うなよ
明日!?
もう十分
辛すぎるのに
明日まで!?
それに
明日
終わるわけ
じゃない…!!
無理…!!
こんなの
無理…!!
頭が変に
なっちゃう!!
いや、
ぼくたちの集落が
襲われたことは
とっくに
伝わってるはずだ!!
いまに聖女様たちが
助けてくれる!
ほかの
仲間が助けに
来てくれる!
それまで
耐えろ!
耐えるんだ!

30日目
（最終日）
誰か…
ハァ
ハァ
ハァ

!!
ほぅら♥
私の臭いだぞ♥
この臭いがたまらないだろう?
今はこれが大好きになってるんだものなぁ?
これを嗅ぐだけで甦ってくるはずだ…
これまでの記憶が…!
……
この匂い…
あっ
あっ
ぼうっ
しっかりと覚えているだろう?
今までのこと思いだしちゃう…!!
頭がしびれる…
オチンチンに響く…
乳首もチンポも気持ちよかったよなぁ?
身体中が悦んでる…!
すこしだけ再現してやろうか…?
……
おっと
助っ人が来たようだ
おまえに奴隷の素晴らしさを教えてやろう

ズル
クッ
来たわよ
貴女のとこのオチンポまだ降伏してないんですって？
なかなかいいのを見繕ったわね
こっちなんか即堕ちで張り合いがないったら

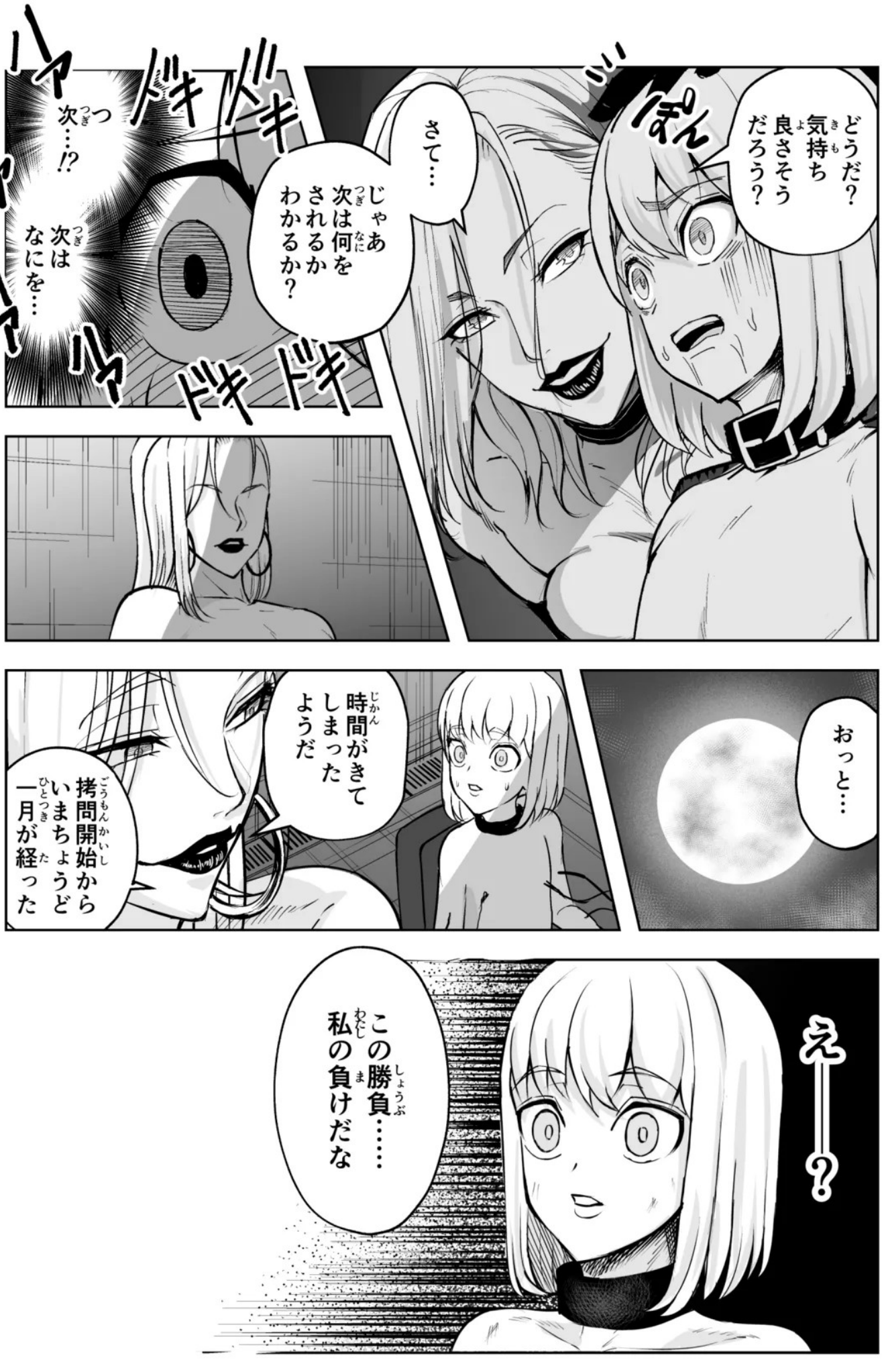
あれは――
みんな……!!

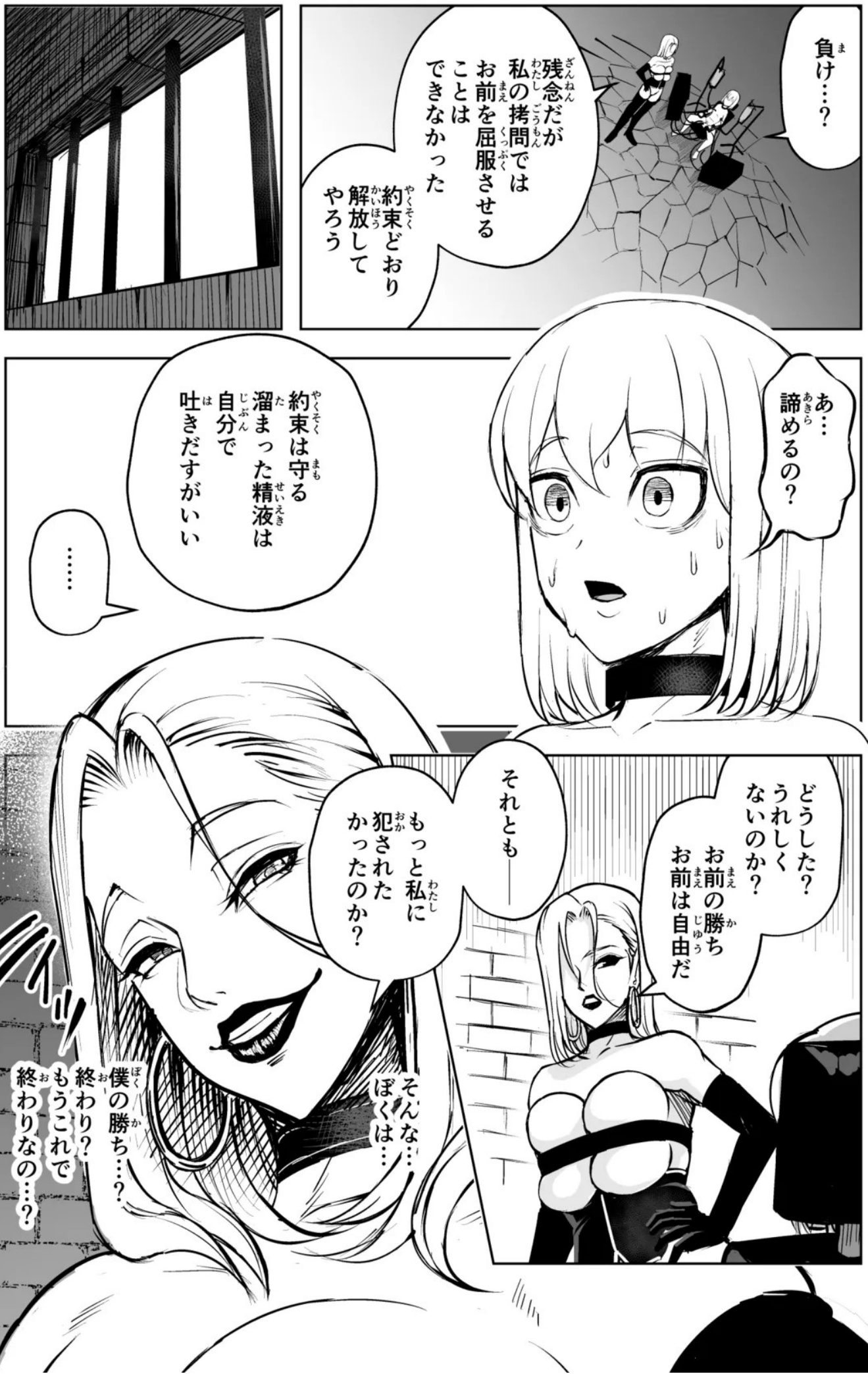
そう
すでに堕ちた
お前の仲間だ
ビッ
ガチャッ

ご主人様の
きびしい
命を守り
今日やっと
褒美が
与えられる
ズボッ♥

オマンコッ
あー!
ーーーっ!!
ご主人様の
オマンコ
気持ちいい
ですぅっ!!
……っ!!

いいか？
奴隷となり
ご主人様から
与えられる
アメとムチは
至上の快楽
なのだ
聖女にただ
甘やかされる
だけでは
けっして
味わえぬ
悦びがある
よぉく見ろ
あいつらの
気持ち
良さそうな
顔を……
私たちの
奴隷になれば
あの快楽を
これから
何度も
味わえるんだ
そんな…
捕まってたなんて…
じゃあ
助けは？
だれも
助けに
来ないの？


どうだ？
気持ち
良さそう
だろう？
ジ
ぽん
さて…
じゃあ
次は何を
されるか
わかるか？
ハァ ハァ
ドキ ドキ
つ
次…!?
次は
なにを…
おっと…
時間がきて
しまった
ようだ
拷問開始から
いまちょうど
一月が経った
え――？
この勝負……
私の負けだな


負け…？
残念だが
私の拷問では
お前を屈服させる
ことは
できなかった
約束どおり
解放して
やろう
あ…
諦めるの？
約束は守る
溜まった精液は
自分で
吐きだすがいい
……
どうした？
うれしく
ないのか？
お前の勝ち
お前は自由だ
それとも——
もっと私に
犯された
かったのか？
そんな…
ぼくは…
僕の勝ち…？
終わり？
もうこれで
終わりなの…？

もしそうなら
最後に
もう一度だけ
選ばせてやろう
帰るか
パチッ
奴隷に
なるか
もし隷属を
誓うなら
精が果てるまで
この肉体で
抱いてやろう
極上の快楽を
味わわせてやる
れろぉ♥
だが
隷属しない
なら
用はない
私たちが
拷問以外で
奴隷以外の
オスを
愛玩する
ことはない
イチッ♥
あ…ぁ
う…う…
選べ
そんな…

こんなに責められたのに…こんなに我慢させられたのに…もうイかせてもらえないなんて…
どしんっ♡
どろっ
びゃるる～♡
キンタマだってこんなにパンパンなのに…今すぐせーえきどぴゅどぴゅってしたいのに…！
まぁまぁ！
なんて勇敢で愛らしい子でしょう！

あなたの
ような子が
いてくれたら
日々の生活に
潤いがでますね

…けれど
まだすこしだけ
時が早い
ようです

あなたには
これを
渡して
おきましょう

これは
御子に
相応しい者が
授けられる
もの…

仮契約の
ようなもの
です

あなたは
また今度——

もうすこし
大きくなった
ときに
迎えに来ます

それまで
清きままで
いてください

約束ですよ

なる
奴隷(どれい)になる…
お…犯(おか)してくださいっ！
おちんちんおまんこでずぼずぼってしてせいえき何回(なんかい)も何回(なんかい)もどぴゅどぴゅってだしたいっ！
オナニーじゃなくて本物(ほんもの)のオマンコでいきたいっ！

とろとろのオマンコにオチンチン突っこんでせ〜えきどぴゅどぴゅしたいっ!!
どぴゅどぴゅさせて…!
オマンコ…オマンコッ…!
いいだろう契約成立だな
これでおまえは完全に私のもの…
私のためにザーメンを作り私のために吐きだすかわいい腰振り人形だ♥

さあ来い♥
ご主人様のとろとろの蜜壷だぞ♥
むっ
たゆん♥
ぱかっ♥
むにっ♥
ぱくっ♥
ぱくっ♥
ぱくっ♥
ぱあっ♥
ハァハァ
ドッドッドッ
ハァ
望みどおり搾り尽くしてやろう♥

オマンコ…
オマンコ…
ハァ ハァ ハァ
にゅるんっ
オマンコッ
オマンコッ！
オマンコォ
オオオッッ!!
ビュビュッ
ビクッ
ビクッ
ビュビュッ
くくっ…
挿れた瞬間イったな♥

オマンコ気持ちいい…！
射精ったばっかりなのに…！
腰振るの止められないいいいっ!!
あっ…
またイク…！
いいぞ上手に膣内射精できてえらいな♥
その調子だ♥

そうだ…
もっと
貪れ
もっと
もっと
私の虜に
なるのだ
もっと
夢中になれ…！
今のいままで
必死で
抵抗していた
オスが
快楽に負けて
屈服し…
我を忘れて
むしゃぶり
ついてくる
この姿…
た…
たまらん…!!

極上の快楽をくれてやる…！
あぅう…
ぶるん♥
なんだこの動き…!?
マンコだけでもおかしくなりそうな気持ちよさなのに…!!
ぶるん♥
腰だけがべつの生き物みたいにくねくねね動くのエッチすぎるぅうっ!!
こいつらのおっぱいもお尻もぜんぶエッチすぎる…!!
僕たちのためだ…！
おっ
おっ
おっ
もっと奥に突き入れろっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
おぉおっ♥
僕たちから効率よくせーえき搾り取るための肉体になってるんだ…!!

ぶるんっ♡
ズルッ
ズルッ
こんなの…
グチュ♡
グチュ♡
ぶるんっ♡
こんなの…
イけ…！
狂え…！
私なじでは
生きて
いけないと
自覚じろ!!
もうダメぇっ
またイクッ!!
イクイクイク!!
悪女の凶悪
オマンコに――!
搾り尽くされる
うううっ!!
イクぅう
うううっ!!
ビクビクッ♡
我慢できる
わけない…!!

あらゆる
快楽を
徹底的に
覚えこまされた
後の射精封じ
そこから
奴隷契約を
交わし
はじめての
射精——

悪女国で
飼われる
一般的な奴隷
にとって
この時の快楽が
生涯最高のもの
であるという
説がある

この快楽は
清貧の教えを
至上として
貫いてきた
オチンポ族の
人生観を変えるに
十分な刺激であり

もはや忘れえぬ
快楽の奴隷となった
オチンポ族たちは
次の褒美を
もらうため
従属しはじめる
のである

あぐ!!
キィ
ハッ
ハッ
ハッ

"診察"するか？
もちろん♥
ハァ
ハァ
ニヤァ…
ぐちゅるるるっ

ようやく
ぜんぶ
吐き出したか
女に精液を
搾りとられる
快感が脳に
焼きつけられた
だろう？
良い子に
してれば
これからも
この快楽を
くれてやろう
良い子に
できるか？
にゃるるっ♥
にゃるるっ♥
ゴシュ
ゴシュ
ゴシュ
ゴシュ
ハァ♥
ビクッ
ハァ♥
ビクッ
ひゃっ……
ひゃいいい……
いいこ…
いいこに
なりゅう……
オチンポ…
オマンコぉっ…
どぷっ
っ……!!
ゾクゾクッ

ああ
聖女様(せいじょさま)——
とうとう
悪女(あくじょ)の奴隷(どれい)に
なってしまい
ました
ぢゅるぢゅる♡
ズズッ♡
ズズッ♡

ギリリッ♡
ガムッ♡
カミッ♡

レロッ♡
レロッ♡
レロッ♡

一度(いちど)でも
悪女(あくじょ)たちの
なまめかしい
肉体(からだ)を
見(み)てしまうと
目(め)が離(はな)せなく
なります
チンポッ♡
チンポッ♡
んんっ♡
フルフル
フルフル

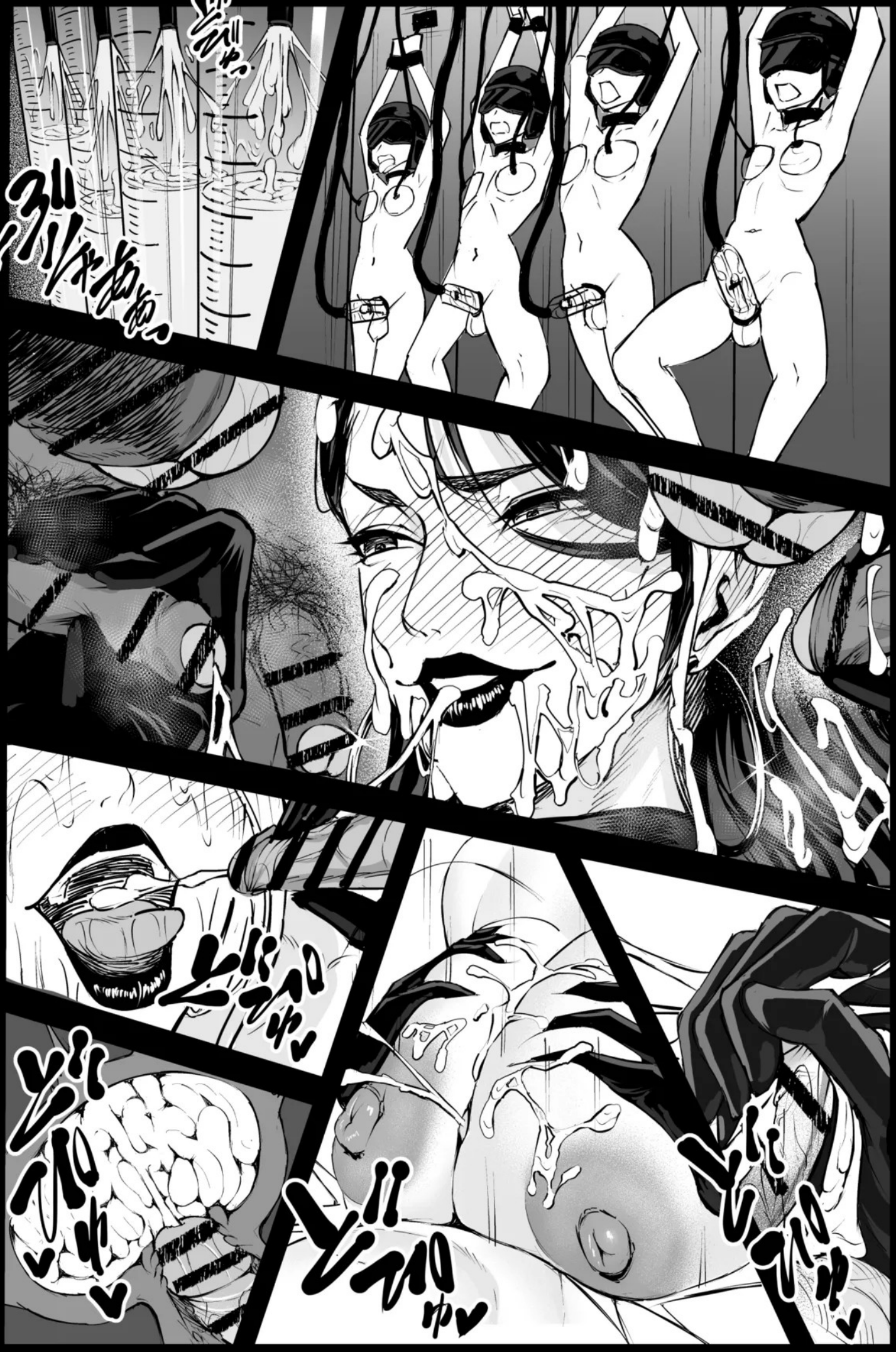
ぢゅるっ♡

悪女の声、悪女の足音を聞くと心臓が高鳴ってしまいます
悪女たちの臭いを嗅ぐとどうしてもオチンチンが硬くなってしまいます

我慢しようと
思っても
我慢できません
精液を
びゅっびゅっと
吐き出すことしか
考えられなく
なってしまうのです
ぬりゅ♥
ぬりゅ♥
むぎゅう
ブリュリュリュッ♥

射精すればするほどもっと射精したくなってしまうのです
ゆっさ
ゆっさ♥
ぎっレ♥
ぎっレ♥
ぢゅうう♥
ぢゅうう♥
僕達の体は呪われているのでしょうか
もう元には戻れません
どろっ

僕の体は
悪女から
与えられる快楽に
支配されてしまいました
ビクンッ♡
ビクンッ♡
ビクンッ♡



デモ
ココロだけは
ウシナッテ
マセン
ボクのココロは
イマでも
セイジョサマヲ
オモッテイテ
セイジョサマト
トモニ
アルノデス
ぢゅるるっ♡
ずずっ♡
ぢゅるるっ♡
ぢゅるるっ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡